

○指導・評価計画 【国語科3年 A・B】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>A「短歌を詠む・読む・味わう」 ①「ことばとところ」（季節の歌） ②「それはトンボの頭だった」（教科書 300～305 頁）を音読し、作者の優れた表現に学ぶ。 ③休校中の見聞や体験をもとに短歌を創作する。推敲過程も記録する。 ④『漢字の演習』第 41 回</p> <p>B「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅰ〕 ①オリエンテーション（家庭学習における留意事項の確認） ②普段、誰かの〈語り〉を聞く際にどのようなことに気を付けながら聞いているのかについて、カードに自由に書き出す。 ③エリザベス英女王の国民向けテレビ演説を YouTube で視聴し、気づいたことや考えたこと、疑問に思ったことなどをカードに自由に書き出す。</p>	<p>A「短歌を詠む・読む・味わう」 ①「ことばとところ」（創作作品集） ②「古典の歌、現代の歌」（教科書 310～314 頁）を音読し、作者の心情が和歌や短歌にどのように表現されているかを捉える。 ③『漢字の演習』第 42 回</p> <p>B「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅱ〕 ①前時の級友の考えをまとめた資料（後日提示）をもとに、 (1) 主として内容にかかわる視点 (2) 主として方法にかかわる視点 (3) 主として社会的・文化的な文脈にかかわる視点 の 3 つの基本的な視点から分類・整理する。 ②エリザベス英女王の演説の工夫について、自分の考えを 200 字程度でカードにまとめる。</p>	<p>A「短歌を詠む・読む・味わう」 ①「ことばとところ」（古典和歌と近現代短歌） ②「和歌の鑑賞文を書く」（教科書 122～123 頁）を参考に、創作作品集から一首選び、400 字程度で鑑賞文を書く。 ③『漢字の演習』第 43 回</p> <p>B「紐帯を生む〈語り〉」〔Ⅲ〕 ①非常事態下において、人々の協調を目指しながら円滑なコミュニケーションを行うためにはどのような心がけが必要になるのかについて、自分の考えを 400～600 字程度でまとめる。 ②単元のふりかえりを行う。</p>
<p>A ③短歌はカードで提出。推敲の意図が推敲過程に反映されているかどうかをみる。④漢字は、練習したノート等を写真に撮って提出。【5/15 まで】 B ①②③カードに記入し、提出。</p>	<p>A ②カードに考えを記入し提出。心情が表れた表現を的確に捉えているかどうかをみる。③画像で提出。【5/22 まで】 B カードに記入し、提出。</p>	<p>A ②鑑賞文はカードで提出。歌の表現を適切に引用し、構成を工夫して書いているかをみる。③画像で提出。【5/29 まで】 B カードに記入し、提出（別の方法の可能性もあり）。</p>
<p>A 自分の思いを伝えるためにどのような言葉を選ぶか吟味することで、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 B ②これまでの自分自身の考えを一度整理することが、新しく始まる学習の土台になる。 ③素朴な感性で抱いた考えから思考の営みは始動する。後に続く学習でさらに掘り下げていこう。</p>	<p>A 作者の心情や考えが凝縮して表現された歌を読み味わうことで、自分の表現に活かしたり、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 B ①様々な考えをある一定の枠組み（視点）をもとに分類・整理することで、自分の考えがより明確になり、足りなかった点に気づくことができる。 ②演説の工夫について考えを整理することで、〈語り〉を聞く・自身が〈語る〉際に必要な視点を得ることを目指す。</p>	<p>A 構成を意識した文章を書くことで、自分の考えが相手に伝わりやすくなる。社会に出てさまざまな文章を書くときに役立てることができる。 B ①普段の日常とは異なる環境において、これまで以上に人々の協調が求められている。鍵となるのは、言葉によるコミュニケーションである。どのような心がけが必要になるのか考えることを通して、今後の自分自身の生き方の指針を得られる。</p>

○指導計画・評価計画 【3年社会科（歴史）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①オリエンテーション （歴史教科書 192・193・202・203 頁） 3年社会の学習の説明、レポートのふりかえり等をとおした歴史学習の見通しをたてる。（20分）</p> <p>②新聞社説にみる日本国憲法 （公民教科書 36・37・64・65 頁） 5月3日の新聞社説から、憲法のあり方について考察を深め、社会の仕組みを知るための公民的分野を学ぶきっかけとする。（25分）</p>	<p>③明治・大正の感染症や災害の歴史（歴史教科書 190・191・210・211 頁） 当時の感染症・災害の状況や対応策から、当時の人々の行動や政府の様子を知り、歴史を多面的な視点で解釈する。（20分）</p> <p>④今の世界の状況を公民的分野の内容から分析してみよう （公民教科書 8～13 頁） 感染症を取り巻く状況を、「グローバル化」「文化の多様性」「情報化」の視点から分析して理解する。（25分）</p>	<p>⑤経済発展の光と影（歴史教科書 182～187、196・204・205・207・250・251 頁） 明治末・大正期・大戦後・現代の学習をとおして、経済発展の成果と課題について考察する。（20分）</p> <p>⑥対立から合意へ・効率と公正 （公民教科書 22～27 頁） 学習内容を踏まえ、現在の感染症対策が重視する要素や発生している対立を整理し、合意に至るプロセスを検討する。（25分）</p>
<p>①明治末期や大正時代のとらえ方についてのカード等 ②読み比べた社説への意見カード等</p>	<p>③学習内容に対する意見や提案・追究課題のカード等 ④文化の多様性とグローバル化の関係性についての意見カード</p>	<p>⑤⑥歴史・公民の学習内容をふまえ、経済活動と感染症対策のバランスをどうとるかについて考察カード</p>
<p>①今後の学習範囲に関する課題レポートの分析やふりかえりをとおして、これから学ぶ時代のイメージを持つことができます。</p> <p>②社説を読み比べる経験を通して、憲法についての理解を深め自分なりのとらえかたを持ったり、新聞の紙面の構成や報道についての関心が高まることを期待しています。</p>	<p>③結核やペスト、スペイン風邪の流行・関東大震災をとおして、非常時の世の中のあり方について歴史的に考察することができます。</p> <p>④グローバル化や情報化のメリット・デメリットをふまえることで、日本の文化的伝統のあり方について考察を深めるきっかけになります。</p>	<p>⑤経済を維持・発展させる努力が招いた結果について、原因や対応策を歴史的なできごとをふまえて考察する能力を身につけることができます。</p> <p>⑥効率と公正の考え方を、今の感染症対策を評価する基準として持つことができます。また、その考えを応用して、現在さまざまなレベルでみられる対立から合意へと向かうポイントを見いだす機会となります。</p>

○指導・評価計画例 【3年社会科・公民（政治）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①社会科公民的分野をなぜ学ぶのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声付き PDF 版パワーポイント（以下、P Pと表記）をもとに、社会科の学習対象や目標について確認する。 ・資料「子どもは何のために学ぶのか？」を読み、その感想（約 200 字）を書き、何のために学ぶのかについての自らの意見（約 200 字）を述べる。 	<p>②政治とは何か？（1）</p> <p>（教科書 p30「第 2 部で学ぶこと」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレックス・フリス『政治とは何か』をもとに作成した資料の課題に取り組み、政治が私たちの生活に深く関連することに気づく。そして、政治とは、様々な意見や考え、利害や対立を調整したり、集団としての方向性や結論を決めたりすることであることを理解する。 ・上記資料をもとに、政治において大切な考え方である「権力」と「権限」について、作業を通して理解する。 	<p>③政治とは何か？（2）</p> <p>（教科書 p35「法の支配」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在行われている「新型コロナウイルス」対策の事例として、日本の「緊急事態宣言」を取り上げ、それがどのような過程を経て出されたのかを、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」をもとに確認する。 ・フランスやアメリカ合衆国の対応と比較しながら、政治と法、法律と権限との関係を考える。
<p>①資料の感想と自らの意見をロイノートカード（以下、カードとだけ表記）に記入し提出。</p>	<p>②資料をもとにしたワークシート（以下、WSと表記）に取り組み、課題の答えをカードに記入して提出。</p>	<p>③P Pと資料をもとにしたWSに取り組み、課題の答えをカードに記入して提出。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・社会科公民的分野は「公民としての資質・能力」を育成する教科であり、学習に取り組む心構えが重要です。そのため、授業の始めに、社会科公民的分野を含め、「なぜ学ぶのか」を考え、授業に取り組む心構えの重要性に気づいて欲しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治とは何かについて考えるとともに、その政治において重要な概念（見方・考え方）である「権力」や「権限」について理解し、今後の政治単元の学習に活かせるようにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行中の新型コロナウイルス対策を取り上げ、この対策が政治そのものであること、そこで行われている対策は法律に基づいていることを確認します。そして、実際の政治が法律に基づいて行われること、内閣総理大臣や知事を持つ権限が法律によって定められていることなど、現実の政治の在り方を理解するきっかけにして欲しいと思っています。

○指導・評価計画 【3年社会科・公民（経済）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①レモン part1 を読む （教科書 104～133 頁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休校中の課題で出した『レモン part1』の英文の日本語訳を紹介します。それを通してこれからの学習の概略を確認します。 ・あわせて、私の自己紹介など授業開きのときに行うガイダンスの資料も付けておきます。 ・ここでは、経済主体、市場、価格の役割、企業の種類、起業、労働問題、企業競争と独占寡占などの概念（言葉）が登場しますが、絵本でみたように、私たちの生活と遠い話ではないことを知ってもらえれば結構です。 ・40 分の学習時間 	<p>②経済とは何か1 （教科書 p108～109 頁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学習の出発点となる希少性の考え方について学び、なぜ経済を学ぶことが必要なのかを理解するための時間です。 ・プリントにある、希少性や機会費用が経済にとって学びの出発点になることがわかれば結構です。 ・あわせて皆さんにとってはじめての概念となる機会費用の考え方も紹介します。 ・プリントと補助資料を使います。（本当は、映像を使って学びたいのですが、データが多すぎて使えません。残念。 ・40 分の学習時間 	<p>③経済とは何か2 （教科書 p107, p118）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済全体の見取り図を自分なりにつかむための時間です。 ・経済循環と経済主体というちょっと難しい概念（言葉）がでてきますが、中身は休校中の課題の『レモン part1』ではすでにでてきたものです。 ・調べ活動を中心として、日本の経済の大きさ、そのなかでの家計や企業の大きさを理解して、経済全体のなかでのそれぞれの役割を確認してください。 ・コロナショック下の世界を考える手がかりにもなります。 ・40 分の学習時間
<p>①自己紹介、指示された課題をロイロノートのカードで提出 （5月14日締切）してください。</p>	<p>②課題をカードに記入して提出 （5月21日締切）してください。</p>	<p>③課題をカードに記入して提出 （5月28日締切）してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり現実の経済に取り組む前に、経済という世界がどんな世界なのかを理解してください。 ・複雑な現象はモデル（絵本はモデルです）を使って原理を理解し、そこから分析をするという発想がつかめれば上出来です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希少性や機会費用という概念を理解して、それが身の回りにどのように存在しているのかに関心をもってもらえればこの時間は成功です。 ・学校休業の機会費用はどんなものがあるかを考えてみるのもよいでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を使ったり資料を探したりして経済をマクロ（鳥の視点）的に捉えることに挑戦してみてください。 ・また、経済が相互関係で動いていることに関心を持ち、現実の動きに注目できることを期待しています。

○指導計画・評価計画【第3学年数学科 数学A 数学B】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>はじめに「ロイロノートでの授業の進め方」を視聴してください。 A B両方に関わる内容です。</p> <p>【数A】</p> <p>①②③(教:p. 135~p. 143)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業1：三角形と比の定理 ・授業2：三角形と比の定理の逆 ・授業3：中点連結定理 ・授業4：四角形の各辺の中点を結ぶ図形は？(1) <p>・授業1から授業3はGWまでの課題の確認が含まれます。自分で教科書の内容をまとめてから視聴してください。</p> <p>【数B】</p> <p>④(教:p. 8-11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業1：イントロ 単項式の乗除 ・復習しながら単項式と多項式の乗除の計算方法を学習します。 	<p>【数A】</p> <p>⑤⑥(教:p. 144~p. 147, p. 155-156)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業5：四角形の各辺の中点を結ぶ図形は？(2) ・授業6：平行線と比 ・授業7：基本の問題，章の問題 <p>・授業5では，中点連結定理と関連させて四角形の性質を探究していきます。</p> <p>・授業6と授業7は事前に教科書の内容をまとめたり問題を解いたりしてから視聴してください。</p> <p>【数B】</p> <p>⑦⑧(教:p. 12-17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業2：多項式の乗法 ・授業3：乗法公式 ・授業2では速算を取り上げて多項式同士の乗法の計算方法を探索します。 ・授業3は計算演習も含まれます。 	<p>【数A】</p> <p>⑨⑩(教:p. 145, p. 38~p. 40)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業8：相似を利用した作図と四則計算の対応 ・授業9：任意提出課題 ・授業10：相似と平方根 <p>・授業8から10は相似を利用していくつかの問題を解いてもらいます。これから学ぶ平方根にも関連する内容です。</p> <p>・<u>定規とコンパスを準備してください。</u></p> <p>【数B】</p> <p>⑪⑫(教:p. 22-23, p. 24-26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業4：因数分解，共通因数 ・授業5：公式を利用する因数分解 ・授業2，3を振り返りながら進められるとよいと思います。通して一連の題材でやります。
<p>【数A】カードで提出(締切 5/15)</p> <p>【数B】カードで提出(締切 5/15)</p> <p>(詳細はそれぞれの授業の中で示します。)</p>	<p>【数A】カードで提出(締切 5/22)</p> <p>【数B】カードで提出(締切 5/22)</p> <p>(詳細はそれぞれの授業の中で示します。)</p>	<p>【数A】カードで提出(締切 5/29)</p> <p>【数B】カードで提出(締切 5/29)</p> <p>(詳細はそれぞれの授業の中で示します。)</p>
<p>【数A】「三角形と比の定理」や「中点連結定理」の内容を理解できるようにします。まず証明の書き方や辺の長さの計算について確認してください。中点連結定理では，WEB コンテンツを使います。操作する中で，四角形の性質を整理し，理解を深めていきましょう。</p> <p>【数B】数Bの初めは計算が多くなります。自分のペースで学習を進め，まずは確実に計算できることを目標にしてください。教科書や問題集でより多く解くことが習得へ大切なことだと思います。</p>	<p>【数A】四角形にも様々な種類があります。それらの四角形の性質を整理し，理解を深めていきます。平行線の比では，先週と同様に証明の書き方や辺の長さの計算ができるかどうかを確認してください。章末問題で内容が身に付いているか確認しましょう。</p> <p>【数B】計算できるようになることがまず何よりですが，ぜひその仕組みや考え方など計算でも深く学習できれば良いと思います。演習の時間も取ります。自分のペースで面倒がらず確実に計算できるよう取り組んでください。</p>	<p>【数A】相似の内容を総括し，いろいろな問題を考えていきます。授業で扱う問題を通して，相似な図形の理解を深められるようにしてください。ここでの相似の理解の確かな定着がこの後に学習する平方根への学習につながります。</p> <p>【数B】展開と因数分解はセットで考えることで理解が深まると思います。授業2，3をしっかりと理解し，授業4，5に臨んでくれると良いです。文字を用いて説明することや第3章の2次方程式の学習にもつながっていきます。</p>

○指導・評価計画 【3年理科】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①単元「運動とエネルギー」 「物体の運動」 （教科書 154～168 頁） 「運動のようすを正確に表す方法を考える。」 （主な学習活動） 学習サポート（ワークシート）に沿って、課題を進める。 「ワークシートの作成」</p> <p>②「物体の運動」 （教科書 154～168 頁） 学習内容の確認 （主な学習活動） 学習サポートの課題が終わったら、問題集（120～135 頁）を行う。問題集ノート（1，2 年時の継続）に解答する。 ★余裕のある人は「10min. ボックス『力と運動』」の視聴</p>	<p>①単元「生命の連続性」 「生物の成長とふえ方」 （教科書 4～16） 「生物が成長するとき、細胞がどのような変化するか。」 （主な活動） 学習サポート（ワークシート）に沿って、課題を進める。 「ワークシートの作成」</p> <p>②「生物の成長とふえ方」 （教科書 4～16 頁） 学習内容の確認 （主な学習活動） 学習サポートの課題が終わったら、問題集（128～133 頁）を行う。問題集ノート（1，2 年時の継続）に解答する。 ★余裕のある人は「10min. ボックス『細胞分裂と成長』」視聴</p>	<p>①単元「生命の連続性」 「遺伝の規則性と遺伝子」 （教科書 17～27） 「親から子への特徴の伝わり方を考える。」 （主な活動） 学習サポート（ワークシート）に沿って、課題を進める。 「ワークシートの作成」</p> <p>②「遺伝の規則性と遺伝子」 （教科書 17～27 頁） 学習内容の確認 （主な学習活動） 学習サポートの課題が終わったら、問題集（134～143 頁）を行う。問題集ノート（1，2 年時の継続）に解答する。 ★余裕のある人は、「アクティブ 10 理科『遺伝』」の視聴</p>
<p>課題の提出方法 ①ワークシートを提出 ②問題集ノートを提出 ★後日、提出方法を示す。</p>	<p>課題の提出方法 ①ワークシートを提出 ②問題集ノートを提出 ★後日、提出方法を示す。</p>	<p>課題の提出方法 ①ワークシートを提出 ②問題集ノートを提出 ★後日、提出方法を示す。</p>
<p>物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら理解する。 ・運動の規則性について理解する。 ・様々な運動について、共通点や相違点を見いだし、表現する。 ・力と物体の運動との関係を理解する。</p>	<p>生物の成長とふえ方について、特徴や規則性を見いだし、表現する。 ・生物が成長するときに、どのような変化が起こるのかを理解する。</p>	<p>親の形質が子に伝わる時の規則性を見いだして理解する。</p>

○指導計画・評価計画例 【音楽科】 3年音楽は 週1時間の実施

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
重唱单元「花」① 歌詞の朗読を中心に、まずは楽譜や教科書に書かれた情報から、ただ現代語訳を書くのではなく、自分の中でどの様に解釈をし理解したのかを、具体的に書き出す。イメージも含めて感じたこと全てを書くこと。 その際には2年時に行った独唱单元「荒城の月」でやったことを思い出しながら、細かい部分を掘り下げて読み解く。 実際に歌う練習をする時にこのノートがイメージの元となる様に分かりやすく書くこと。 （教科書2・3下p4～7）	重唱单元「花」② 前回の課題を提出してから本課題に取り組むよう指示 1～2 番の歌詞の内容の解説を聞きながらノートにまとめる。 自分が1回目の授業で書いたものくらべ新たな発見があった部分は追記がわかるようにもとのノートにも書き込むこと。 提出は次の登校日。 （教科書2・3下p4～7）	重唱单元「花」③ 3 番の歌詞の内容を聴きながらノートにまとめる。 自分が1回目の授業で書いたものくらべ新たな発見があった部分は追記がわかるように1回目のノートに書き込むこと。 提出は次の登校日。 （教科書2・3下p4～7）
①ロイロノートの資料箱内の「花 1回目」を見ながら朗読をし、ノートに書き込んでいく。 ＊評価：細部にまで目をむけ言葉の1つ1つを材料に解釈しようとしているかどうか。	①ロイロノートの資料箱内の「花 2回目」を見ながらノートをまとめる。 ＊評価：次の登校日にノートを提出する。 ＊重要な内容なので全てノートに書く。	①ロイロノートの資料箱内の「花 3回目」をみながらノートをまとめる。 2、3 回目の授業で知識を得て、自分のイメージが膨んだ部分は、加筆個所がわかる様に1回目のノートに加筆する。 ＊重要な内容なので全てノートに書く。
・单元全体を通しては曲想と音楽の構造や歌詞の内容・曲の背景との関わりを理解できるようにしましょう。更に、創意工夫をいかした表現で演奏する為の奏法や体の使い方や全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けることが目標です。その為に1回目の授業では自分が歌詞からなにを感じ取ったのかを言葉にして自らのおこしたイメージを理解しましょう。	・2、3 回目の授業では創造に知識を取り入れて1回目におこしたイメージの抜けている箇所を補完していきましょう。	・2、3 回目の授業では創造に知識を取り入れて1回目におこしたイメージの抜けている箇所を補完していきましょう。

○指導・評価計画例 【美術・3年生】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>作品から主題を読み取ろう ～主観的な鑑賞～</p> <p>作品を細かい単位に解体して情報を読み取り、読み取った情報を再構築することで全体の文脈を理解する。</p> <p>具体的にどのような手順で主題を見つけるか、フェルメールの『天神を持つ女』を例にして学ぶ。</p> <p>それに倣い、『手紙を書く女と召使い』の文脈を読み取る。</p>	<p>作品から主題を読み取ろう ～主観的な鑑賞～</p> <p>前回の作品よりも抽象度の高い作品の理解を行う。</p> <p>また、以前取り組んだ『泉』とも関連のある作品であることから、『泉』までの美術の歴史を振り返りも行う。</p> <p>作品のカードから、いったい何を表しているのか考え、題名をつけてみる。</p>	<p>作品から主題を読み取ろう ～主観的な鑑賞～</p> <p>前回の提出されたカードを共有し、クラスの意見を互いに読み、作品の理解の幅を広げる。</p> <p>改めて、自分なりの考えをまとめる。</p>
<p>カード提出 （締め切り 5月17日）</p>	<p>カード提出 （締め切り 5月24日）</p>	<p>カード提出 （締め切り 5月31日）</p>
<p>作品自体から、自分なりに主題を見つける態度・能力を身につけましょう。</p> <p>作品の根拠となる部分を明記して、自分の意見をかけるといいです。</p>	<p>抽象度合いの高い作品からも、自分なりの主題を見つける態度・能力を身につけましょう。</p> <p>また、昨年度の美術の歴史も復習しておきましょう。</p> <p>作品の根拠となる部分を明記して、自分の意見をかけるといいです。</p>	<p>他者の考えた主題から類似点や相違点を見つけてみよう。</p> <p>それを踏まえて、再度、自分の考えをまとめましょう。</p> <p>作品の根拠となる部分を明記して、自分の意見をかけるといいです。</p>

○第3学年指導計画・評価計画例 **【3年技術・家庭科（技術分野）】**

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>①エネルギー変換の技術 「動力伝達のしくみ」 「運動を変化させるしくみ」 （教科 108～111 頁） 3年技術科の学習計画についてのガイダンス。前期の目標など提示。</p>	<p>①エネルギー変換の技術 「動力伝達のしくみ」 「運動を変化させるしくみ」 （教科 108～111 頁） 前回に引き続き、同様の単元</p>	<p>①情報の技術 プログラムによる計測・制御 （教科書 222～225 頁） コンピュータを用いた計測・制御の基本的なしくみを知る。</p>
<p>①ロイロノートによって教材説明を行い、提出箱にカードを提出する。 ＊教材を使って、リンク機構やカム機構など運動の変化する方法について、身の回りのものへ関連させることが理解できたか。 （50分程度）</p>	<p>①ロイロノートによって教材説明を行いロイロの提出箱にカードを提出する。 ＊教材を使って、リンク機構やカム機構など運動の変化する方法について、身の回りのものへ関連させることが理解できたか。 （50分程度）</p>	<p>①ロイロノートによって教材説明を行いロイロの提出箱にカードを提出する。 ＊身の回りの機器が、コンピュータの計測・制御されていることに気がつき、自ら生活の中で関連づけて記述ができているか。 （50分程度）</p>
<p>①エネルギー変換によって生じた回転運動から、様々なしくみを使って、運動を変化させることを理解し、身の回りの機器について興味を持って関心が持てることができる。</p>	<p>①エネルギー変換によって生じた回転運動から、様々なしくみを使って、運動を変化させることを理解し、身の回りの機器について興味を持って関心が持てることができる。</p>	<p>①コンピュータを用いて機器を制御する基本的なしくみを理解し、人間が行うより規則正しく繰り返し作業できることを理解する。また、計測と制御について身近なことに結びつけ、考えられることができる。</p>

○指導・評価計画例 【3年技術・家庭科（家庭分野）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【食品と栄養素】 （教科書 P68～77、80～81）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の1年間のガイダンスを行います。 ・ロイロノートの授業は、カードに書いて期日までに提出する場合と、家庭科のノートに記録するものがあります。またワークシート等をHPからダウンロードし、記入して家庭科のノートに貼っておくものがあります。 ・初回の授業は、中学生に必要な1日分の食品の種類と概量について知ります。 ・2年生の時に学習した五大栄養素の学習を踏まえ、食事摂取基準を満たすためには具体的にどのような食品をどれくらい摂取すればよいのか考えます。4月の自習課題で課した『1日の食事の記録と評価』に関連した学習です。 ・40分の学習時間 	<p>【食品に含まれる成分を、目で見て確かめよう】（実験） （教科書 P70～71）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な実験を行い、食品に含まれる成分を、目で見て確かめてみます。 ・教科書を見て、この中からできそうなものを1つ選び、実際に実験してみます。 ・無機質の実験は、長時間加熱するので、危険ですからやめましょう。食物繊維（水溶性）を取り出す実験も火気など危険ですからやめましょう。 ・40分の学習時間 	<p>【食事の計画】 （教科書 p78～79）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食品群別摂取量のめやす」を満たすように、食品を組み合わせ、1日分の献立を考えてみます。 ・特に、p79の日本型食生活の長所・短所を考えて、工夫して献立を立ててみます。 ・4月の休校中に取り組んだ、「1日の食事の記録と評価」をみながら、その経験を生かして作成します。 ・40分の学習時間
<ul style="list-style-type: none"> ・課題をロイロノートのカードに書いて提出してください。（5月14日締切） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果は写真に撮り、写真が無理な場合はイラストで描き、取り組み内容と感想を、家庭科のノートに記録しておいてください。（5月21日ころまで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p252 の中段の表を参考に、家庭科のノートに1日分の献立を書き、工夫した点や感想も書いておきましょう。 ・1日分の献立を考えるにあたって、どのような事に配慮して献立を立てたか、ロイロノートのカードに記入して提出してください。（5月28日締切）
<ul style="list-style-type: none"> ・五大栄養素と食品を結びつけて考えられるようになります。 ・食品群別摂取量のめやす（6つの食品群）について理解を深めます。 ・食事の栄養バランスについて考える手立てを知ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品に含まれる栄養素を簡単な実験によって、目で見て確かめて実感することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の調理例や料理の本等を見ながら1日分の献立を計画します。食事構成力を養います。 ・自分の食べるものを意識して考え、将来は食生活の自己管理ができるようになることを期待しています。

○指導・評価計画 【英語科（３年）】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【学習内容】</p> <p>①Lesson 1 GET (教科書 pp.6～7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌：Tomorrow (from Annie) ・【文法】受け身の文の復習 ・教科書本文の内容理解&音読 <p>②Lesson 1 Read, Speak (教科書 pp.8～9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌：Tomorrow (from Annie) ・教科書本文の内容理解&音読 ・Writing Task <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>毎回の授業で用意する道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート ・録音できる機器 </div>	<p>【学習内容】</p> <p>①Lesson 2 GET Part 1 (教科書 pp.12～13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌：Lean on Me ・【文法】現在完了形（継続） ・教科書本文の内容理解&音読 <p>②Lesson 2 GET Part 2 (教科書 pp.14～15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌：Lean on Me ・【文法】現在完了形（継続） ・教科書本文の内容理解&音読 <p>③ Let's Talk 1 (教科書 pp. 10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の内容理解&音読 ・Speaking Task（道案内） 	<p>【学習内容】</p> <p>①Lesson 2 Read（1回目） (教科書 pp.16～17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌：Lean on Me ・教科書本文の内容理解 <p>②Lesson 2 Read（2回目） (教科書 pp.16～18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌：Lean on Me ・教科書本文の内容理解&音読 ・文法のまとめ <p>③[TT] 新しい先生を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT からのメッセージ ・新しい先生からのメッセージ ・ALT・新しい先生への質問
<p>【課題・提出物】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講レポート(提出箱) ※詳しくは授業の中で説明 ・必修テキスト (pp. 10～19, 22, 23) ※次回登校日に提出 <p>②のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で指示された Writing Task をテキストカードで提出 ※提出箱はどれも 5/15 締め切り 	<p>【課題・提出物】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講レポート（提出箱） ※詳しくは授業の中で説明 ・必修テキスト (pp. 20, 21, 24～27) ※次回登校日に提出 <p>③のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で示される Speaking Task を録音し、カードで提出 ※提出箱はどれも 5/22 締め切り 	<p>【課題・提出物】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講レポート（提出箱） ※詳しくは授業の中で説明 ・必修テキスト (pp. 28～35) ※次回登校日に提出 <p>③のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい先生への質問を提出 <p>※提出箱はどれも 5/29 締め切り</p>
<p>【授業のねらいや目標】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の文法項目が用いられた文章を読み、内容を正確に理解できる。 ・教科書の本文を表情豊かに音読し、正確で、聞き手に伝わりやすい英語を話すことができる。 <p>②のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の表現を参考にしながら、自分の好きなことばについてまとめた文章を書くことができる。 	<p>【授業のねらいや目標】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出の文法項目を学習、練習することで、自身がこれまで継続しておこなってきたことについて表現することができる。 ・教科書の本文を表情豊かに音読し、正確で、聞き手に伝わりやすい英語を話すことができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の表現を参考にしながら、場面に応じて適切な道案内ができる。 	<p>【授業のねらいや目標】</p> <p>①②共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の文法項目が用いられた文章を読み、内容を正確に理解できる。 ・教科書の本文を表情豊かに音読し、正確で、聞き手に伝わりやすい英語を話すことができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージの内容を踏まえた上で、これまでの既習事項を用いて質問を作り、たずねることができる。

※授業のスライドおよび授業や復習で使うハンドアウトは、すべて各週の初めに「資料箱」⇒「英語科のフォルダ」の中に入れておきます。

○指導・評価計画【第3学年HRH】

5月3週（11日～）	5月4週（18日～）	5月5週（25日～）
<p>【手帳の使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付したスコラ手帳（または、自分で使用している手帳）を準備してください。 ・今週からロイロノートを使った学習支援が本格的に始まります。1週間分の学習計画を手帳に記入してください。合わせて、生活リズムを整えるために、起床時間と就寝時間の予定も記入してください。 ・実際に学習した時間、起床時間、就寝時間を、「予定」で記入したものとは違う色の筆記具で記入してください。 	<p>【3年生になって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う年度の始まりですが、皆さんは指導学年として附属中を引っ張る存在です。 ・2年生の学年末も突然の休校、3年生の年度初めもまだ登校ができていません。このような状況だからこそ、今までを振り返り、新たな決意を落着いて考えることが大切です。 ・校長先生や副校長先生のメッセージ動画、新入生代表と在校生代表の挨拶、担任団のメッセージ動画を踏まえて、中学3年生に進級したことに対する決意や抱負を表現してみましょう。 	<p>【共感する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料として、「ネガティブケイパビリティ: 答えの出ない事態に耐える力」(帯木蓬生、朝日新聞出版、2017年)を読みます。 ・現在の状況だからこそ、皆さんに読んで欲しい資料であり、その内容について考えて欲しいと思います。 ・資料を読んだ感想や考えをクラス(または学年)と共有して、いろいろな人の考えを知り、またそれを通して、自分の考えを深めてください。
<p>【提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入した「予定」を画像で各クラスの「HRH」の「学習計画(手帳)」という提出箱に提出してください。【12日(火)まで】 ・「実際にどう過ごしたか」の記入が加わったものを画像で各クラスの「HRH」の「学習実施記録(手帳)」という提出箱に提出してください。 【18日(月)】 	<p>【提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5(なければA4)の原稿用紙かレポート用紙に縦書きで作文してください。完成したら、各クラスの「HRH」の「3年生になって(作文)」という提出箱に画像で提出してください。【22日(金)まで】 ・登校再開後、記入した用紙を提出してもらいます。紛失しないように保管しておいてください。 	<p>【提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み、カードに感想を書いて提出します。その後、回収したカードの内容を共有する機会を設け、自分の考えを深めます。進行の詳細は5月25日に提示する予定です。
<p>【学習の目的・意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で学習計画を立てること、生活リズムを整えることが大切です。1週間の予定を立てて、見通しをもって生活しましょう。 ・実際に予定とずれても気にする必要はありません。ただし、計画が妥当なものだったか振り返ってください。無理な学習計画だったのか、達成容易 	<p>【学習の目的・意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返ること、新たな決意や抱負を持つことが大切です。 ・そのためには、入学してからの2年間を振り返り、成果と課題を自己分析してみましょう。 ・3年生になってやりたいと思っていたことは何でしょうか。登校が始まればその願いの実現に近づきます。一方で、 	<p>【学習の目的・意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み自分の考えを整理できることが大切です。この学習を通して他者の考えを知り、新たな発見や自己の考えを深めていくことができます。学校再開後の自治活動にも生かせるようにしましょう。 ・現在の休校期間、コロナウイルスの影響だけでなく、これから先の人生では様々な不安を

<p>な計画だったのか、記録をとり次の計画にどう生かすか振り返って考えることができるようになることが大切です。</p>	<p>このような状況であってもできることがあります。各々の立場で、附属中の指導学年としての思いを込めて書くことが大切です。</p>	<p>経験しながら生きていくことになります。そのような不安とどのように向き合っていけばよいのでしょうか。自分だけでなく互いの考えを知り、共感できる点を見いだしていくことが大切です。</p>
---	---	--